



秋田県立 能代支援学校教育プラン

I 学校の現状と課題・学校を取り巻く将来の状況の予測

1 現状

現在の児童生徒数は、小学部20名、中学部26名、高等部39名の計85名である。また、地域外から通う児童生徒のために寄宿舎を併設しており、26名の生徒が利用している。

校地面積は69,082㎡と全国4位の広さである。この広大な敷地を利用して、稲作、野菜、果樹、園芸などの作業学習に力を入れている。また、平成27年より5年計画で「森の中の学校プロジェクト」に取り組み、校地内にブナやコナラ等毎年250本の植樹をしていく予定である。

児童生徒の充実した日々の生活づくりを基盤にして、個々の発達に合わせて地域資源の活用を進めている。能代市教育委員会、三種町教育委員会、八峰町教育委員会と協働で「居住地校交流ガイドブック」を作成し、小・中学校に配付した。このガイドブックには、平成27年度の小・中学部における居住地校交流や学校間交流の実践をまとめている。また、地域の施設での高等部生によるミュージカル公演や全校行事「しののめ夏祭り」は開校の翌年から毎年実施し、多くの地域の方でにぎわっている。

さらに、介護職員初任者研修を高等部教育課程に位置付け、今まで8名が介護施設への一般就職を決め、介護業務での勤務をしている。

平成29年度は、職域開拓促進事業の事業推進校になっている。能代山本地区における地場産業や農業生産法人と連携して中・高等部の作業学習の充実を図り、社会的・職業的自立に必要な力を育てる教育活動を計画的に行っている。

2 将来の状況の予測と課題

- (1) 自立と社会参加を充実させるため、社会に開かれた教育課程を編成・実践する。
- (2) 将来の地域生活を見据え、地域資源の有効活用を進めるとともに、地域貢献活動を充実させる。
- (3) 一般就労希望者の一定数の推移を踏まえ、職業教育を充実させる。
- (4) インクルーシブ教育の更なる推進のため、「交流及び共同学習」における活動内容を充実させるとともに、居住地校交流を拡充する。

II 目指す方向性・学校像や幼児児童生徒の姿

1 目指す方向性

- (1) 「この子らは世の光なり」を心として、子ども一人一人の尊厳を重んじ、愛情に満ちた教育を推進します。
- (2) 子どもたちの日々の生き生きとした生活づくりを目指し、共に生きがいのある教育を推進します。
- (3) 心豊かで、互いに愛と信頼で結ばれ、内外に開かれた教育を推進します。

2 学校像と児童生徒の姿

「拓く」 (時代を拓く 教育を開く 子どもの心をひらく)

○ 目指す学校像

- (1) 一人一人のニーズに最適な教育を追求し、新しい時代を拓く学校を目指します。
- (2) 地域と共に歩み、地域に貢献する学校づくりを推進します。
- (3) 子どもたちが考えや心を外に開いていく教育を実践します。

○ 目指す児童生徒像

明るく元気な子、仲良く助け合う子、喜んで働く子

Ⅲ 具体的な目標・取組・推進指標

目標1 個別の指導計画に基づいた望ましい人間関係の構築

- 教育課程コーディネーターを活用して個別の指導計画を作成するとともに、校内支援コーディネーター及び自立活動コーディネーターを設置し、全校体制で指導に当たります。
- 校内支援委員会が指導事例等について全職員に情報提供し、個々の指導に生かせるようにします。
- 『特別支援教育のミニマムスタンダード』等を活用して授業づくりと授業改善を行い、日常の授業の生徒指導機能を高めます。

目標2 キャリア教育の視点を生かした教育活動の展開・職業教育の充実

- キャリア教育全体計画に基づいて勤労観・職業観を踏まえ、各学部の教育活動を展開します。
- 「特別支援学校職域開拓事業」を活用して職業教育を充実させます。
- 地域産業と関連した作業学習と作業製品づくりを推進します。
- 介護初任者研修を充実させ、介護施設への就労希望者全員の介護業務への就労達成を継続します。

目標3 地域の資源を生かし、地域と関わり合う教育活動の推進

- 地域の人材や商店、団体、学校等の資源を生かし、地域の人々と関わり合う教育活動を一層進めます。
 - ・ミュージカル公演（22回目）
 - ・よさこい、役七夕音頭上げ等の地域披露
 - ・木曜カフェの運営（市内コーヒー店、市役所等で月1回開店）
 - ・本校栽培の梨・リンゴ・檜山茶等を活用し市内菓子舗とコラボしたお菓子の販売
 - ・特別支援学校バスケットボール大会（能代ウィンターカップ）の12月開催（能代バスケット協会、能代工業高校バスケット部の協力）

目標4 地域と目標を共有し、地域に貢献する教育活動の展開

- 地域自治会、関係校、関係団体等と目標を共有して（アンケートの実施など）、地域に貢献する教育活動を展開します。
 - ・地域のイベント、祭典等への参加や運営、各商店会、観光協会、NPOとの連携
 - ・緑化推進、花いっぱい運動（地域花壇植栽やプランター設置後の定期的管理）
 - ・「のしろクリーンパートナー」への登録と活動（市の文化会館、総合体育館、子ども館の清掃）
 - ・「雪ん子レンジャー」（除雪ボランティア）への登録と活動
 - ・JR五能線の駅でのお手振り隊、観光PR
 - ・しののめ夏祭りの7月開催

目標5 地域交流・交流及び共同学習を中心とした特別支援教育の推進

- 能代市・三種町・八峰町教育委員会と協働で作成した「交流及び共同学習～居住地校交流ガイドブック～」を活用し、学校間交流、居住地校交流を推進します。また、新たに藤里町教育委員会とも協働で作成し、小・中学校に配付します。
- 小学校10校、中学校4校との学校間交流、居住地校交流を継続実施します。